

名前 _____

日付 _____

得点 _____

1 / 4

1 答 2 急がば回れ

【急がば回れ】 急ぐときほど、安全な道に行くほうが早い

- × 1 すぐ実行せよという逆の教え
- × 3 先が予測できないという意味
- × 4 悔やんでも遅いという意味

覚え方 昔、琵琶湖を舟で渡るより陸路のほうが確実だったことから

例 急がば回れというから、確実な方法を選ぼう。

2 答 2 ちりも積もれば山となる

【ちりも積もれば山となる】 小さなものも、積み重なれば大きくなる

- × 1 思いがけない幸運という意味
- × 3 苦労せずに大きな利益を得る意味
- × 4 わずかな助けでは効果がない意味

覚え方 類義：雨だれ石をうがつ／千里の道も一歩から

例 毎日の練習も、ちりも積もれば山となる。

3 答 2 弘法にも筆の誤り

【弘法にも筆の誤り】 名人でも、ときには失敗する

- × 1 名人は道具を選ばないという別の意味
- × 3 下手なのに好きという意味
- × 4 身なりで立派に見える意味

覚え方 類義：さるも木から落ちる／河童の川流れ

例 あの人でも間違えるとは、弘法にも筆の誤りだ。

4 答 2 馬の耳に念仏

【馬の耳に念仏】 いくら言っても、まったく効き目がない

- × 1 価値が分からない者に与える無駄
- × 3 手ごたえがないという意味
- × 4 張り合いがないという意味

覚え方 「忠告が通じない」場面で使う。類義：ねこに小判

例 何度言っても馬の耳に念仏だった。

5 答 2 二兎を追う者は一兎をも得ず

【二兎を追う者は一兎をも得ず】 欲張ると、どちらも得られない

- × 1 一つで二つの利益を得る、逆の意味
- × 3 同じことが繰り返される意味
- × 4 辛抱すれば実るという意味

覚え方 類義：あぶはち取らず

例 二兎を追う者は一兎をも得ず。一つに絞ろう。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

2 / 4

6 答 2 石の上にも三年

【石の上にも三年】辛抱を続ければ、いつか成し遂げられる

- × 1 焦らず待てという意味
- × 3 思いがけない幸運という意味
- × 4 何もしなければ結果は出ないという意味

覚え方 「三年」は長い年月のたとえ

例 石の上にも三年、続けていれば必ず形になる。

7 答 2 能ある鷹は爪を隠す

【能ある鷹は爪を隠す】実力のある者は、それを見せびらかさない

- × 1 目立つと非難されるという意味
- × 3 他人の力でいばる者という意味
- × 4 平凡な親からすぐれた子が生まれる意味

覚え方 類義：実るほど頭を垂れる稲穂かな

例 彼は能ある鷹は爪を隠すタイプだ。

8 答 2 泣きっ面に蜂

【泣きっ面に蜂】不運の上に、さらに不運が重なる

- × 1 強いものがさらに強くなる意味
- × 3 不幸を幸福に変える意味
- × 4 最後に残ったものに価値がある意味

覚え方 類義：弱り目にたたり目

例 転んだうえに財布も落とすとは、泣きっ面に蜂だ。

9 答 2 犬猿の仲

【犬猿の仲】非常に仲が悪い

- × 1 似た者どうしが集まる意味
- × 3 好意には好意で応じる意味
- × 4 幼なじみという意味

覚え方 犬と猿が仲が悪いとされたことから

例 あの二人は昔から犬猿の仲だ。

10 答 1 灯台もと暗し

【灯台もと暗し】身近なことは、かえって気づきにくい

- × 2 先が予測できないという意味
- × 3 知らなければ心が乱れない意味
- × 4 秘密はもれやすいという意味

覚え方 灯台の真下は影になって暗いことから

例 灯台もと暗しで、答えはすぐ近くにあった。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

3 / 4

11 答 2 三人寄れば文殊の知恵**【三人寄れば文殊の知恵】** 凡人でも、集まれば良い考えが出る

- × 1 指図する人が多いと失敗する、逆の意味
- × 3 少し聞いて全体を理解する意味
- × 4 似た者どうしが集まる意味

覚え方 文殊は知恵をつかさどる菩薩

例 三人寄れば文殊の知恵で、解決策が見つかった。

12 答 2 井の中の蛙大海を知らず**【井の中の蛙大海を知らず】** 狭い世界しか知らず、広い世界を知らない

- × 1 細部にとらわれて全体が見えない意味
- × 3 聞くより見るほうが確かという意味
- × 4 自分に関係のない出来事の意味

覚え方 井戸の中の蛙は、海の広さを知らないことから

例 今までの自分は井の中の蛙大海を知らずだった。

13 答 2 百聞は一見にしかず**【百聞は一見にしかず】** 何度聞くより、一度見るほうが確かだ

- × 1 似た意味だが、慣用的な言い回しが違う
- × 3 議論より証拠が大事という意味
- × 4 心配するよりやってみると簡単という意味

覚え方 「しかず」は「及ばない」という意味

例 百聞は一見にしかず、自分の目で確かめよう。

14 答 2 案ずるより産むがやすし**【案ずるより産むがやすし】** 心配するより、やってみると案外たやすい

- × 1 先に備えよという逆の教え
- × 3 準備があれば心配ないという意味
- × 4 運にまかせてやってみる意味

覚え方 出産は案じるより実際は楽だ、という語源から

例 案ずるより産むがやすし。まずやってみよう。

15 答 2 医者の不養生**【医者の不養生】** 立派なことを言うが、自分は実行していない

- × 1 他人のために働いて自分は手つかず、という近い意味
- × 3 不用意な発言が身を滅ぼす意味
- × 4 他人を見て自分を正せという意味

覚え方 類義：紺屋の白袴。ただし「言行不一致」を指すのは医者の不養生

例 人に節約を勧めながら浪費とは、医者の不養生だ。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

4 / 4

16 答 2 元の木阿弥**【元の木阿弥】**よくなったものが、また元の状態に戻る

- × 1 自分の行いが原因で災いを招く意味
- × 3 わずかな助けでは効果がない意味
- × 4 取り返しがつかないという意味

覚え方 身代わりの木阿弥が、役目を終えて元の身分に戻った話から

例 せっかくの努力も元の木阿弥になった。

17 答 2 白羽の矢が立つ**【白羽の矢が立つ】**多くの中から選び出される

- × 1 有力者の一言で決まる意味
- × 3 男性の中に女性が一人いる意味
- × 4 わずかな欠点という意味

覚え方 いけにえに選ばれた家の屋根に白い矢が立つという伝説から

例 新しい部長に、彼に白羽の矢が立った。

18 答 2 のど元過ぎれば熱さを忘れる**【のど元過ぎれば熱さを忘れる】**苦しさも、過ぎれば忘れてしまう

- × 1 知らなければ心が乱れない意味
- × 3 何度も無礼を重ねれば怒る意味
- × 4 関わらなければ災いはない意味

覚え方 熱いものも、のどを通れば熱さを感じなくなることから

例 のど元過ぎれば熱さを忘れるで、また同じ失敗をした。

19 答 2 人のうわさも七十五日**【人のうわさも七十五日】**うわさは、しばらくすれば忘れられる

- × 1 悪い行いはすぐ広まるという意味
- × 3 秘密はもれやすいという意味
- × 4 不用意な発言が身を滅ぼす意味

覚え方 「七十五日」はおおよそ一季節を表す

例 人のうわさも七十五日、気にしなくてよい。

20 答 2 仏の顔も三度**【仏の顔も三度】**温厚な人でも、何度も無礼を重ねられれば怒る

- × 1 冷酷な人でも情に動かされる意味
- × 3 短気を起こすと損をする意味
- × 4 関わらなければ災いはない意味

覚え方 正しくは「仏の顔も三度撫（な）ずれば腹立つ」

例 仏の顔も三度というから、これ以上は許されない。